

## 会 議 録

|                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                   |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会 議 名                                                                                                                                                                                                                      | 平成２９年度第３回野田市コミュニティバス検討専門<br>委員会議                                                                                  |
| 議題及び議題毎の<br>公開又は非公開の別                                                                                                                                                                                                      | まめバス運行計画見直しについて                                                                                                   |
| 日 時                                                                                                                                                                                                                        | 平成２９年１０月３０日（月）<br>午後１時３０分から午後２時５０分まで                                                                              |
| 場 所                                                                                                                                                                                                                        | 市役所低層棟４階 職員控室                                                                                                     |
| 出席委員氏名                                                                                                                                                                                                                     | 石 塚 一 男、齊 藤 達 夫、中 村 恵美子、<br>原 正 之、谷田貝 しづ子                                                                         |
| 欠席委員氏名                                                                                                                                                                                                                     | 無し                                                                                                                |
| 事 務 局                                                                                                                                                                                                                      | 今 村 繁（副市長）<br>遠 山 康 雄（企画財政部長）<br>宮 澤 一 弥（企画調整課長）<br>中 村 正 則（企画調整課長補佐）<br>岡 田 勇 貴（企画調整課調整係長）<br>野 本 勝 大（企画調整課主任主事） |
| 傍 聴 者                                                                                                                                                                                                                      | ４名                                                                                                                |
| 議 事                                                                                                                                                                                                                        | 平成２９年度第３回野田市コミュニティバス検討専<br>門委員会議の会議結果（概要）は、次のとおりであ<br>る。                                                          |
| <p>原議長 本日は傍聴希望者が４名おり、傍聴を許可していることを報告</p> <p>【議題】 まめバス運行計画見直しについて</p> <p>&lt;事務局説明&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ８月１７日に開催した会議での御意見等に基づき、修正案を作成したこと。</li> <li>・ 前回提示した四つの運行計画案を集約し、基本案の懸案事項を改善し</li> </ul> |                                                                                                                   |

た、A 2 案及びB 2 案の二つの案に絞り、委員の意見を伺った上で、パブリック・コメント手続に諮る素案として、確定したいこと。

- ・ 前回の会議で頂いた意見として、急行ルートの設定について、「関宿地域からは川間駅への利用者が多いことから、川間駅への経由は必要である。」、「土日祝日は市役所が休みにもかかわらず、急行運行する必要があるか。」、「関宿地域から市役所へのまめバス利用者がどの程度いるのか、乗降調査をもう一度行ってみてはどうか」との意見を頂いていること。
- ・ 会議終了後 9 月 15 日までの間に、「どの案も野田市駅へのアクセスが少ない」、「A 案、A 2 案の、福田地区（白鳥の池入口～しらさぎ通り入口）の減便数が多いのではないか」との意見を頂いていること。
- ・ 聞き取り調査の結果については、8 月 29 日の火曜日から 9 月 4 日の月曜日までの平日 5 日間、北ルートと新北ルートを対象に調査を実施したこと。
- ・ 市役所開庁時間に到着する便の利用者に対し、「乗車したバス停」、利用頻度として、「良く利用して市役所に来るのか、たまたま来たのか」、「土日祝日にも同様に利用するのか」を伺い、その結果をインデックスの資料 1-1 にまとめていること。
- ・ 表の見方について、例えば、8 月 29 日火曜日では、全 9 便中、関宿中央ターミナルから市役所までの間で乗車された全ての利用者の方が 191 人、そのうち関宿地域から乗車して市役所で降りられた方は 2 人ということ。
- ・ 聞き取り調査の総論については、平日、土日祝日とも、関宿から市役所まで乗車する人は、非常に少なかったということ。
- ・ 聞き取り調査結果と頂いた御意見を踏まえ修正案のポイントとして四つ設定したこと。
- ・ 運行経費の単価が新たに提示されたことなどから、経費の見直しを行っており、昨年度単価に比べて人件費単価が上昇し、さらに、今回の修正によって運行距離数が伸びたことから、増額となっていること。
- ・ 修正 A 2 案の前回から修正した部分は、急行便のルートを取りやめ、代わって新北ルートについて、イオンタウンで折り返していたもの

を、16 号を通り、市役所を経由し、老人福祉センターまで延伸するものとしたこと。

- ・ ルート図については、茶色で示しているもので、いちいのホールから向ノ内、県道我孫子関宿線から関宿高入口、関宿総合公園、関宿滑空場入口、江戸川左岸道路、尾崎小前、川間駅南口、イオンタウンから国道 16 号を経由して市役所へ直行し、16 号にはバス停は設けず、さらに市役所から旧日光街道を通り、大殿井、電建第一住宅から老人福祉センターを結ぶルートで、便数は平日 8 便、土日祝日 6 便を設定していること。
- ・ 次に浮いた 1 台で新たに南ルート循環を設定し、福田地区の減便を解消したこと。
- ・ ルート図については、図 1 の 3 枚目、ピンク色で示しているもので、現行の南ルートを基に、桜木神社入口から上花輪太子前間のジグザグ運行を是正したもので、梅郷駅から流山街道を直進し、長命寺前方面へ運行するルートで、便数は、平日 9 便、土日祝日 7 便を設定していること。
- ・ この南ルート循環の設定により、新下町付近が増強されたため、南ルート愛宕駅を市役所から野田市駅を経由し大殿井方面まで延伸し野田市駅へのアクセスを向上するものとしたこと。
- ・ ルートは緑色で示しているもので、市役所を起終点として市役所から愛宕駅、上町、流山街道を通り梅郷駅、ハローワーク野田、みずき 4 丁目公園、西新田自治会館前から流山街道に出て、市役所に戻り、更に市役所から旧日光街道を通り、野田市駅、大殿井、下鹿野、電建第一住宅、みどり橋から大殿井、野田市駅から旧日光街道を通り市役所へ戻るルートで、1 台により交互に運行するもので、市役所から梅郷駅方面への便が、平日 8 便、土日祝日 6 便を設定しており、市役所から大殿井方面への便が、平日 7 便、土日祝日 4 便を設定していること。
- ・ この修正案については、全 11 ルート、平日 122 便、土日祝日 91 便となっており、年間運行距離数 642,423 k mとなっていること。
- ・ 懸念事項としては、急行ルートを取りやめたことにより、下総利根大

橋入口から木間ヶ瀬中前のバス停間が廃止となっていること。

- ・ 廃止のバス停、減便バス停の廃止理由について整理したものが、インデックスの資料 1-2 にまとめていること。
- ・ 修正 B 2 案の前回から修正した部分は、急行便のルートを取りやめ、イオンタウンから国道 16 号を通り市役所までとしていたルートを、イオンタウンから川間駅を経由し、七光台駅、堤台地区を通り、樺のホールから市役所までのルートとしたもので、ルートは図 2 の 1 枚目、茶色で示しており、便数は平日 8 便、土日祝日 6 便を設定していること。
- ・ この修正により関宿地域から川間駅へのアクセスが向上し、さらに、川間駅から市役所間の便数が増えること。
- ・ 前回提示した中ルート堤台の起終点を市役所から野田市駅に延伸し、野田市駅へのアクセスを向上させていること。
- ・ ルートは、図 2 の 1 枚目で、グレー色で示しており、小山から田端、イオンタウン、川間駅南口、プラタナス通りから都市計画道路山崎吉春線を通り、樺のホールから愛宕駅、市役所までとしていたものを更に延伸し、旧日光街道から野田市駅までとしたものとなり、便数は平日 10 便、土日祝日 8 便を設定していること。
- ・ この修正案については、全 12 ルート、平日 104 便、土日祝日 77 便で、年間運行距離数は、622,219 k mとなっていること。
- ・ 懸念事項として、急行ルートを取りやめたことにより、上原三から檜溜間が現行の 9 便から 8 便と 1 便減便となることが挙げられるが、周辺に利用可能な他ルートのバス停もあることから、利便性は確保されていると考えていること。
- ・ その他、廃止のバス停、減便バス停の廃止理由について整理したものが、インデックスの資料 1-3 にまとめていること。
- ・ 運行経費見込額及び市支出見込額について、1) は、26 年度からの運行実績について記載したもので、表の見方としては、運行経費と運賃収入額の上段が消費税を含んだ額、下段の括弧書きの数字が消費税を抜いた数字になっており、平成 27 年度までは、委託料として消費税を加算した金額で支出し、平成 28 年度から、補助金方式にしたことから

消費税額を除いた金額で支出しており、網掛けになっている数字が、その年度の計算に用いている数字になっていること。

- ・ 市支出額は、平成 26 年度の消費税率のアップにより、平成 26 年度以降 6,800 万円を超えて、昨年度は、運行事業者の人件費等の増高により、76,853,000 円となっており、今年度は、8 千万円に迫る状況になっていること。
- ・ 2) の運行経費の見込額と市支出額の見込額については、前回同様、コンサルタント事業者において算出したもので、沿線人口から収入見込額を算出したものを最大の運賃収入見込額とし、ルートごとに重複した部分を差し引いたものを、最小運賃収入見込額として表示していること。
- ・ A 2 案の運行にかかる経費が、税抜き（網掛けの部分）で 137,790,000 円、収入見込額が 31,621,000 円から 48,640,000 円の範囲と試算し、市の支出見込額が 89,150,000 円から 106,169,000 円と予測したこと。
- ・ B 2 案については、運行にかかる経費が、税抜きで 133,735,000 円、収入見込額が 25,972,000 円から 38,650,000 円の範囲と試算し、市の支出見込額が 95,085,000 円から 107,763,000 円と予測したこと。
- ・ 前回の会議において、市支出見込額について 1 億円を目安として提示し、この 1 億円以内で運行を行うためには、運賃収入見込額は少なくとも A 2 案で 37,790,000 円（税込みで 40,813,000 円）、B 2 案で 33,735,000 円（税込みで 36,434,000 円）が必要であるということ。

〈質疑・意見〉

原議長 A 2 案の急行ルート（新北）の運行距離が長くなっている。前回の説明でこうのとりの里の観光との説明があったが、関宿地域からこうのとりの里や老人福祉センターへ行く利用者が果たしているのだろうか。

齊藤委員 路線が長すぎる

石塚委員 行くとしても乗り継いでいく。

事務局 確かに長い運行距離となるが、16 号を通ることにより、時間短縮にもなっている。委員の御意見により、例えば、市役所で止めてしまいか、16 号ではなく、中を通していく案も考えられる。ただし、修正により便数については、距離計算をしてからでないと出せないものである。修

正していくのも可能である。

宮澤課長 野田梅郷住宅付近は、茨城急行バスが運行しており、すみ分けをすることも考えていた。しかし、電建第一住宅付近は、茨城急行自動車は走っていないことから、ある程度の便数を確保させるために、無理に伸ばした考えもある。

原議長 関宿地域からこのとりの里へ行く利用者などではなく、市役所から老人福祉センター方面を配慮したものではないかと私も考えていた。

事務局 茨城急行自動車が運行している区間、この急行ルート案をなくした場合の想定便数になるが、17 便で示しているところが、8 便減便となり 9 便となる。また、電建第一住宅については、24 便で示しているところが、8 便減便となり 16 便となるが、現行も 16 便であることから現状維持となる。

石塚委員 A 2 案、B 2 案とあるが、B 2 案に賛成である。理由については、前回から急行便のルート案が示されているが、まめバスを運行する上で、急行便は必要ないと考える。本来の目的が、困っているところを便利に走らせるもので、（市役所等へ）急いでいくために走らせるものではないと考えている。真意が分からない。作るのであれば、他のルートでも急行便の設定案が出なくてはおかしいと考える。そのため急行便は消してもらいたい。既存 6 ルートの中で、この新北ルートのみ急行便を設定することが、果たして市民から理解が得られるかどうか疑問である。また、利用者にとって、ほかを経由せずに市役所へ直行になると、利用者にとっては不安であり、ダイヤを設定するのも難しいと思われ、トラブルも多く発生するものと思われる。

A 2 案で、新北ルートは、修正してほしくないところであるが、廃止されているバス停がある。新北ルートは新たに設定したルートである。私も当時かかわっていたが、木間ヶ瀬公民館、岡田、尾崎等の川間地区の強い要望があって、江戸川左岸を通過して、我孫子関宿線の通っていないところ（今回廃止対象案とされているバス停）を設定した経緯があることから廃止案は好ましくない。向ノ内は、40 分に 1 本は通っており、廃止対象とされている区間は 2 時間に 1 本であるため、それを廃止してしまうことはどうかと思う。

また、別の関宿城ルートについては、以前までは、縮小傾向であり、廃

止の声も出ていたものが、逆に増便になっているが、関宿地域からすると有り難いが、何か特別な理由でもあるのか。

宮澤課長 以前までは、6,800 万円の上限額もあり、増やせる状況ではなかったが、今回は、市民サービスの向上の観点から、関宿地域の観光資源をいかしていくために増便する提案をさせていただいたものである。

新北ルートの廃止に至った考え方については、小山地区の農村部等を含め利用者の少ない所を大きな車両で走らせることは効率的ではないと考え、そういった箇所については、バスとは違った、ほかの交通手段に変えて対応することも含めて検討しなくてはならないのではないかとこの視点でルートから外したものである。

石塚委員 違うと考える。別の交通手段と言っても、ほかの交通手段のものは浮かばない。どのようなカバーを考えているのか。その箇所は、幹線道路でもあり、無理して廃止することはないと考える。

副市長 ただ今の説明は、A 2 案の考え方を説明したものであって、B 2 案であればA 2 案で廃止している箇所を網羅しているルート案であり、両方の考え方があることをお示ししている。

石塚委員 A 2 案に対する不満の意見である。

谷田貝委員 B 2 案が良いと思われる。石塚委員同様に廃止されている箇所については、狭いながらも幹線道路（裏県道）であり、裏県道はバスが通っていないので残してほしいためにB 2 案である。

中村委員 南部地区から見ると、北部地区の感覚が分からないため、南部地区が充実しているA 2 案が良いのではと思っている。今までの意見を聞くとB 2 案が駄目であるかともう一度確認してみたが、現行のジグザグ運行なども改善されている部分もある。しかしA 2 案を見てしまうとこちらの案が良い。

石塚委員 川間駅付近を境目にA案とB案の良いところを採用することはできないか。

齊藤委員 良い所だけを取ることができればいいのだが、それによって財政負担が大きくなってしまふことを考慮しなくてはならない。

宮澤課長 例えば、新北ルートを向ノ内から木間ヶ瀬前村方面にルートを変えることは、大きな変更はなく可能である。

石塚委員 その修正で充分である。向ノ内地域が、この振替によって出る影

響はないと考えられる。

原議長 A2案において、今の意見を取り入れた修正はできないのか。

宮澤課長 可能である。

事務局 新北（直行）ルート全体を見直すことは可能である。例えば、老人福祉センターまで行っているところを市役所止まりにして、16号を通さず中の市街地を通すことやイオンタウンや川間駅止まりの変更も可能である。

また、向ノ内が木間ヶ瀬前村方面にルートを変えることにより、現在向ノ内付近で33便あった便数が25便になり、現行の26便から1便減となるものである。

原議長 現行の便を薄くするならまだしも、廃止してしまうのは好ましくない。この地域の住宅の張り付き状況はどうか。

石塚委員 減ってきているが住宅はある。

原議長 この点が解消されれば、A2案でも良いか。

石塚委員 急行便を止めていただければ良い。

原議長 関宿地域の廃止区間を元に戻すこと、急行便を他の地域へ振り替えることは可能か。

事務局 可能である。

齊藤委員 急行ルートを設定した発想は、関宿地域の方の市役所への利便性の考えがあったからである。この提案が関宿地域の方から受け入れられないのであれば難しいものである。

原議長 聞き取り結果からも利用者は少ない結果である。いちいのホールでも市への手続はできるものであり、聞き取り調査の中で、市役所バス停を利用している方は、仕事等で利用する方で、市の手続で来ている方は少ない。

齊藤委員 関宿地域の方々の意向や動向は分からないが、この聞き取り調査で、平日のデータが示されているが、休日の文化会館等でのイベント等での関宿地域からの利用者はいないものか。市役所以外での需要はあると思われるが。

原議長 イベント等は、年に数回であるが、利用状況はどうか。

石塚委員 時間が合えば、利用することは考えられる。イベントでの利用は、まれなことであると思えるが。

齊藤委員 趣味で中央公民館を会場で囲碁を行っているが、メンバーで必ずまめバスを利用して来る者がいる。

宮澤課長 資料 1-1 の 3 枚目になるが、聞き取った内容を記載している資料を添付している。その中で、市役所以外で、趣味、病院、仕事などといった利用者の方もいる。

石塚委員 いちいのホールの取扱業務が拡大されていることもあり、いちいのホールで間に合う部分が多くなり、わざわざ市役所へ手続に来る方は少ないと考えられる。

齊藤委員 希望であるが、イベント等で、何を交通手段にと考えた時に、頭にまめバスが浮かんでくるものでないと、なかなか利用されない。「まめバスを利用する」と思ってもらえるようにならなければと考える。

石塚委員 イベントの中で、花見の時期の清水公園などは、まめバスを使って行ってみたいと考えている方は多いと思われる。しかし、大渋滞になっていることから利用できないようなこともある。

原議長 上限額の目安である 1 億円の設定についてはいかがか。

宮澤課長 上限額も議論していただかなくてはならないが、A 2 案と B 2 案との意見を頂く中で、A 2 案を批判的に指摘する意見が多い。B 2 案が積極的に良いのではなく、A 2 案の懸念事項が多いから B 2 案を推していると感じられたが、そのような考え方なのか。

原議長 A 2 案の南部地区が厚くなっていることから A 2 案が良いと思っていた。石塚委員の指摘箇所が変更できるのであれば、A 2 案が良いのではないかと考えている。

宮澤課長 本日、どちらかの案を決定する予定であったが、意見を頂いた木間ヶ瀬前村部分と直行ルートを変えることについては、時間を頂き、A 2 案と B 2 案も含めて修正して、次回の会議で再修正ルート案をお示しいた。

齊藤委員 A 2 案のみで良いと思われる。

(B 2 案は必要ないとの声有り)

宮澤課長 A 2 案に絞り、修正案を提示する。12 月上旬からはパブリック・コメント手続を実施する兼ね合いもあるため、来月の中旬には会議を開催したい。

遠山部長 A 2 案では、廃止バス停として、中ルートの小山地区、斎場付近

が廃止となるが、その点についても御意見を頂きたい。

石塚委員 もともと小山地区はなかったもので、要望があつてルート設定した経緯がある。実績を見ても 0 に近い状況もある。廃止しても問題ないのではと考える。

遠山部長 石塚委員の発言のとおり、資料の 1-2 にも記載しているが、小山の 3 箇所のバス停は、連続 40 日乗っていなかったこともある。25 人乗りのバスを走らせる必要についても記載させていただいている。

図面の 2 枚目になるが、A 2 案では廃止のバス停が多いが、B 2 案であれば廃止のバス停はより少なくなるが、B 2 案であれば、その付近にバス停を確保しているような配慮をしているものである。廃止になる部分としては、斎場付近になるが、民家も少なく、斎場の利用も時間も合わないこともあり利用者は少ない状況である。

齊藤委員 斎場を意識してまめバスを考えることは難しいものとする。

中村委員 ほかの廃止バス停において、乳児保育所入口がなくなったことでの影響はないのか。

宮澤課長 全くないわけではない。全部の利用者ではないが、ほかのバス停を利用することも可能な距離である。

原議長 上限額についての目安を 1 億円とし、A 2 案に絞り、修正していくことでよろしいか。

(異議無しの声有り)

宮澤課長 頂いた意見を基に、A 2 案を再修正し、素案を決定したいと考える。次回の開催については、11 月 15 日前後を予定している。

今後の予定になるが、次回会議を踏まえて、素案を決定したい。12 月上旬から 1 月上旬にかけてパブリック・コメントを実施し、その後、出された意見を取りまとめて、2 月に会議で報告させていただき、計画案を決定していく予定である。

原議長 以上で本日の予定の議事は全て終了した。これでコミュニティバス検討専門委員会会議を閉会する。